

三九六三番

世よの中なかは 数かずなきものか 春花はるはなの 散ちりのまがひ
に 死しぬべき思おもへば

三九六四番

山川やまかわの そきへを遠とほみ はしきよし 妹いもを相見あひみず
かくや嘆なげかむ

守大伴宿禰家持、
掾大伴宿禰池主に贈る

悲かなしみのうた
歌二首

三九六五番

春はるの花はな 今いまは盛さかりに 匂におふらむ 折をりてかざさむ
手力たぢからもがも